

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先:メタンハイドレート研究開発グループ 保坂、グラサーハイマン

電話:043-276-9536

広報担当:総務部 広報課 高橋 電話:03-6758-8106

米国アラスカノーススロープでメタンハイドレートの試掘井掘削を完了

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:細野 哲弘)は、米国エネルギー省(DOE)傘下のエネルギー技術研究所(NETL)と合同でアラスカノーススロープのプルドーベイ鉱区(Prudhoe Bay Unit:PBU)においてメタンハイドレートの試掘調査を実施し、メタンハイドレートの賦存を確認しました。

JOGMEC は、NETL と合同でアラスカノーススロープの PBU にてメタンハイドレートの賦存を確認するため平成 30 年 12 月に試掘井を掘削し、コアサンプルおよび検層データ等の取得を完了しました。

また、当該試験地ではメタンハイドレートの賦存する地層を 2 層確認し、現在データの解析を行っています。

当該井には温度・音響センサーを設置し、メタンハイドレートの賦存状況等のモニタリングも可能となります。

なお、国際研究協力体制下で進められる本研究プロジェクトは、アラスカ州天然資源局の協力のもと実施しています。

メタンハイドレートは、メタンガスと水が低温・高圧の特定の条件下で氷状に固まっている物質で、主に極地の永久凍土の地底や深海底下の比較的浅い層に存在しています。

本プロジェクトは資源エネルギー庁からの委託事業として実施しています。

【補足】

米国エネルギー省(DOE:U.S. Department of Energy)

米国エネルギー技術研究所(NETL:National Energy Technology Laboratory)

プルドーベイ鉱区(PBU:Prudhoe Bay Unit)

■NETLニュースリリース(英文)

ALASKA NATURAL GAS HYDRATE STRATIGRAPHIC TEST SUCCESSFUL

(URL)<https://www.netl.doe.gov/node/8020>

■関連ニュースリリース

米国アラスカノーススロープでメタンハイドレートの試掘井掘削を計画(2018年12月6日)

(URL)http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_000289.html

■メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム(MH21)ウェブサイト

(URL)<http://www.mh21japan.gr.jp/>